



子どもへ渡す未来へのバトン

NPO
法人

夢こども基金 ニュース

夢こども基金

No.6

2005/10/16

発行編集者 特定非営利活動法人 石川こども環境教育学習基金
発行責任者 代表理事 青山 幸司
〒921-8034 金沢市泉野町4丁目9番5号

TEL&FAX: 076-245-9450
URL <http://yumekodomo.yupapa.net/>
E-mail: yumekodomo@yupapa.net



河北潟で親子カヌー体験



津幡の水辺を守る会（代表:岡山英一郎）は、7月24日（日）、かほく市の大崎水辺公園にて「第2回 河北潟 親子カヌー体験とごみ清掃」を開催しました。

保護者と参加した子どもたちは、会場周辺の水辺でごみ拾いをした後、地元のカヌー愛好家を中心としたメンバーが用意したカヌーに乗り、河北潟の湖面をスイスイ動き回りました。

大人より子どもたちのほうがカヌーに慣れるのが早く、交代しながら何度もオールを握って歓声を上げていました。



子どもたちは、カヌーを楽しんだ後で、スイカ割りをして盛り上がり、夏休み最初の日曜日を満喫したようでした。

なお、夢こども基金では、この活動の傷害保険料とおやつ代を支援しました。

買い物ゲームを公開

金沢エコライフ事業実行委員会（代表:鯉野 正）のグリーンコンシューマークラブは、7月31日、8月1日の両日、JR金沢駅のもてなしドームで開催された「省エネルギーキャンペーン」（主催:（財）省エネルギーセンター）において、環境にやさしい買い物をテーマにした「買い物ゲーム」を公開しました。

ゲームで使用する擬似商品には、商品の産地表示はもちろんのこと、販売姿はバラ売りから袋詰め、発泡スチロールのトレイに載ったものまであり、実際に消費者がスーパーで買い物するような感覚でゲームを楽しめるようになっていました。



これらの商品は、家庭から出る不用品のリサイクルで作ったものですが、野菜、果物から肉や魚介類までの品揃えがあり、ベテラン主婦たちが作った商品はどれも完成度は高く、見学者からは作り方を教えてほしいとの希望があったそうです。

既に婦人会や中学校から出前授業の予約が入っており、商品の整備とゲームとしての完成度を高めつつ、大人から子どもたちまで、できるだけ多くの賢い消費者を増やして行きたいそうです。

夢こども基金では、プログラム開発に対して支援を決定しており、子どもたちが楽しみながら環境について学習できる環境づくりをサポートしていきたいと思っております。

浅野川でアユつかみとごみ拾い

8月28日(日)、KFC(環境ふれあい子ども達)ふれあいクラブ(代表:青山幸司)は、金沢市の浅野川若松橋周辺において「浅野川周辺美化とアユつかみ」(後援:金沢市、金沢北ロータリークラブ、杜の里商店街、旭町連合町会 他)を開催しました。

はじめに、参加者は川原や河川敷の遊歩道、道路沿いのごみ拾いをしましたが、ごみの量は年々減ってきており、周辺住民の環境意識が高まってきているとのことでした。



ごみ拾いが終わると、参加者が協力してバケツリレーで川原のイケスにアユを放し、いよいよアユつかみが始まりました。子どもたちは年齢別に分かれ、何度もイケスに入りアユつかみを楽しみましたが、途中からは、大人のほうが夢中になる姿が見られ、イケスの中には童心があふれていました。



また、つかまえたアユはその場で塩焼きにしてもらい、メット汁と共に満足そうに味わっていました。

今年で17回目となるこの河川愛護活動には、周辺住民や地元商工会関係者を含め、総勢312人(うち子ども200人)が参加しましたが、その多くは親子のリピーターで、主催者と地域住民の強い結びつきを感じました。

また、この活動は北國新聞やテレビ金沢の24時間テレビでも取り上げられ、全国ネットで自然の大切さを学ぶ子どもたちの姿が紹介されました。

なお、夢こども基金では、この活動に対して傷害保険料と仮設トイレなどの費用を支援しました。

手取川で河川美化運動とハゼ釣り

9月25日(日)、KFCふれあいクラブは、白山市の美川大橋周辺で、家族で参加するごみ拾いとハゼ釣り(共催:白山市、後援:美川ライオンズクラブ他)を行いました。

当日は、時々雨が降り、あいにくの天気でしたが、総勢185名(うち子ども125名)が参加し、ハゼ釣りの後で周辺のごみ拾いをしました。



釣れた魚をその場で天ぷらにしてもらう子どももいて、主催者が準備した野菜の天ぷらと一緒においしそうにほおぼっていました。

11年目を迎えるこの活動は、旧美川町から新生白山市の行事として引き継がれましたが、会場は河川敷グランドや公園にも近く、最近では他のグループによる河川清掃活動も行われるようになり、河川愛護の輪が少しずつですが、広がっているようです。

(平成17年9月末現在)

●基金の概要

個人正会員数	企業正会員数	団体正会員数	登録団体数
41名	9社	—	9団体
企業正会員名	(株)アルテ島田、石川総合管理(株)、(株)植宗園、税理士法人泉が丘会計センター、(株)カワチオート (株)テレビ金沢、(株)プラスト、(有)プラントエンジニアリング 増田事務所、(株)ミルコン金沢支店		

【編集後記】水辺でのカヌーや釣り、魚つかみを楽しむ子どもたちの姿は本当に楽しそうです。失われてしまった美しい自然環境、子どもたちが安心して遊べる水辺を少しでも増やして行きたいのはもちろんですが、そこが大切な場所であることも伝えて行きたいです。大人が出したと思われる、花火やバーベキュー、釣り道具などのごみで水辺が汚れていることもあり、私たちの自然環境と向き合う姿勢が大切であることを痛切に感じます。(事務局)